

# 図画工作研究部

## 1 研究主題と研究の方向性

横浜市小学校図画工作教育研究会 学習指導研究部 研究主題

感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造

～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～

### 部会テーマ

低学年部	思いのままに つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
中学年部	工夫して つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
高学年部	効果的に つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

### 研究内容

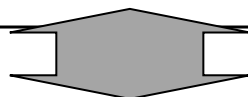
1. 「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント
2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れた授業改善における子どもの変容

今年度の研究内容は、1. 「学習の方向性」と〔共通事項〕を基にしたカリキュラム・マネジメント。2. 子どもが主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりの2つの研究内容をもとに研究を進めていきます。

1については、目の前の子どもの実態に合わせて、何をよりどころに、どのような考えを大切にしながら題材設定、授業実践、カリキュラム・マネジメントをしていったらよいか、ということの研究をしていきます。「学習の方向性」とは、横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領図画工作、美術科編で、『造形的な見方・考え方を働かせ、資質・能力を育む「学習の方向性」』として示されている言葉で、これまで「学習の主題」として定着してきた考え方です。教師にとっては、指導内容や支援の方向性を示すとともに、題材を設定する根拠となるものです。「学習の方向性」を根拠に題材を設定することで、題材で指導すべき内容や、育成する資質・能力を明確にすることができます。

〔共通事項〕は、表現及び鑑賞の活動の中で、共通に必要な資質・能力です。〔共通事項〕を大切にすることで、「形や色などの造形的な特徴を理解したり、イメージをもったりする資質・能力」を育成し、造形的な視点を持ち、豊かに授業づくりをすることができます。

2については、図画工作科で育む資質・能力の育成に向けて、児童の主体的・対話的で深い学びの実現を図り、研究を進めていくという研究の方向性を示しています。児童が学習の見通しを立てたりふりかえったりして自身の学びや変容を自覚し主体的に学習に取り組んだり、対話によって自分の考えを広げたり深めたりしながら、造形的な見方・考え方を働かせる中で、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育成していきます。児童の資質・能力の視点を大切に、育成を目指す資質・能力を明確にするとともに、児童の発揮している資質・能力を的確にとらえ、授業づくりに生かしていきます。



### 研究内容具現化のベース

○出あいの工夫 魅力的な出あい（題材、材料、表現方法、人など）を設定すること。	○場の設定の工夫 子どもの資質・能力を引き出す効果的な場（学習環境）の設定をすること。	○共感的支援の工夫 対話や相互鑑賞などによる共感的支援（評価基準の設定）をすること。
--	--	---

### ○小中一貫の視点

9年間の連続した学習活動の流れを意識して指導の工夫（カリキュラム・マネジメント）をすること。

## 2 年間活動報告

### 夏季実技研修部

○第72回夏季実技研修「造形・美術体験ワークショップ」企画・運営〔横浜市立 桂小学校〕  
 ・期日 令和3年7月26日(火) 27日(水) ※前日準備25日(月)

### 児童作品展部

○横浜市図画工作児童作品展 企画・運営〔横浜市民ギャラリー〕  
 ・期日 令和4年1月26日(水)～30日(日) ※搬入：25日(火) 搬出：31日(月)

	低学年部会	中学年部会	高学年部会
4月21日	<b>開 催 中 止</b>		
5月12日	【ZOOM開催】総会		
6月16日	【ZOOM開催】組織編成、事業局計画報告、研究内容確認(部会リーダー)、授業者決定		
7月 7日	【ZOOM開催】事業局・研究局・事務局からの連絡		
9月 8日	【ZOOM開催】市一斉授業研究会指導案検討①		
10月 6日	【Google Meet開催】市一斉授業研究会指導案検討②		
11月10日	【部会ごとの分散開催】実践提案		
	低・高学年部会(桂小)	中学年部会(下末吉小)	
	〈低〉 桂小 高橋 彩 先生	〈高〉 伊勢山小 植木 絵美先生	〈中〉 左近山小 森 香苗先生
12月 1日	【各授業校開催】市一斉授業研究会		
	〈低学年部会(下末吉小)〉 港区 師岡小 野村 尚也先生	〈中学年部会〉 都筑区 勝田小 土井 淑登 先生	〈高学年部会〉 中区 本牧南小 鳥居 加奈子 先生
1月12日	【集合開催】学習会		
	講演 「資質・能力を育む指導と評価の一体化」 教育委員会事務局 北部学校教育事務所 指導主事室 松山 麻衣子主任指導主事		
2月 9日	第二次教育研究大会 (ZOOMでの開催)		
	実践事業報告(事業部)		研究報告(研究局)
	夏季実技研修部より 部長 東本郷小 新川麗子	児童作品展部より 部長 元街小 桑野麻美	研究局長 荻田西小 長谷川俊充
3月 9日	総会(研究のまとめ)		

## 3 研究の成果と課題

研究内容1 「学習の方向性」と〔共通事項〕を基に、育むべき資質・能力をとらえ、一つひとつの題材を各学校の学習環境や行事等との関連を図り、カリキュラム・マネジメントしていくことの大切さを、実践提案や市一斉授業研究会を通して考えることができた。ICTの活用については、図画工作科としての教科の特性を考え、どの場面で活用していくことが効果的なのかは、今後も研究が必要である。

研究内容2 「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れた授業改善については、「主体的に学ぶ」姿や「対話的に学ぶ」姿を、子どもの具体の姿から捉え、どのような指導と評価が資質・能力を育むために有効なのか、考えることができた。また、研究内容を具現化するためのベースとなる、3つの工夫と1つの視点で主体的・協働的に学ぶ子どもの姿をみとることができ、理解を深めることができた。

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍での研究となったが、オンラインでの開催や内容や方法を変更しての集合研修など、できる範囲の中で工夫して進めていくことができた。この2年間の実績を生かし、来年度も、子どもがよさや楽しさを味わうことができる授業づくりや、資質・能力を育むための状況に応じた、柔軟なカリキュラム・マネジメント等を発信していくことができれば思う。